

埼臨技 だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

令和元年度 埼玉県医師会 精度管理調査試料の発送作業に参加して

令和元年度 埼玉県医師会精度管理調査試料の発送作業が2019年9月7日（土）に行われました。
スタッフとして参加された会員の方の感想文を掲載します。

一般社団法人北埼玉医師会立メディカルセンター
小林 麻里子

令和になって初めての埼玉県医師会精度管理調査の試料梱包・発送作業が2019年9月7日（土）に行われました。会場に入るとすでに多くの理事や研究班の方々が準備を始めしていました。私は、箱に記載してある参加施設に臨床化学の試料の種類と、一覧表に記載してある必要な試料の種類を確認し、次の人に渡す担当でした。

初めての参加で不安もあり、作業前にやり方を確認していると、神山会長より「次の人に渡すときに必要な試料の番号を口頭で伝えると間違が減る」という分かりやすい具体的な指示をいただいたので安心できました。

定刻となり神山会長の挨拶、山口精度管理委員長より作業内容の説明があり、梱包作業が始まりました。作業内容は私が担当した配布試料の内容の確認、次に研究班ごとに試料を箱に詰め、最後に理事の方が中心となり確認した後、発送用の袋に詰めるといった流れ作業でした。臨床化学が最初の作業となるため、スムーズに行わなければというプレッシャーもありましたが、神山会長より「急がなくてもよいので間違いのないように」との指示もあったため、落ち着いて作業することが



できました。

今まででは宅配便で届いた試料しか見たことがありませんでしたが、この1箱に約40名の方たちが作業に携わっていることを実感しました。また、本日行われた作業だけではなく、この日のための準備も必要であり大変な労力であると感じました。最後になりますが、梱包・発送作業に携われた理事・研究班の皆さん、お疲れ様でした。

埼玉医科大学病院
中別府 奈穂子

9月7日(土)、まだまだ残暑が厳しい中、令和元年度埼玉県医師会精度管理調査の試料梱包・発送作業が行われました。初めて参加することもあり、緊張と不安の中、会場に到着しました。すでに神山会長をはじめ埼臨技理事の方々や各研究班員が大勢集まっており、会場のセッティングや試料の配置などの準備に取りかかっていました。

定刻になり神山会長の挨拶、山口精度管理委員長から作業の説明、注意事項などの話があり、作業開始となりました。自分の担当の血清部門の席につき、目の前にある試料を見てその膨大な数に圧倒されました。主な作業内容としては、別紙のリストを確認しながら、施設名と参加試料を表示したシールが貼られた箱に、流れ作業で試料を詰めていきます。流れ作業のためそれが滞ってしまわないように、また試料の過不足や破損がないかに注意しながら集中して行いました。他部門の研究班の方々もお互いに不備がないか確認をしたり、少しでもおかしいなと思うことは指摘しあって無事に梱包作業は終了しました。

今回この事業に参加して、試料が不備なく各参加施設に届くまでに多くの方の協力なくしてはできないことを強く実感ました。最後になりましたが、梱包・発送作業に携わった理事や各研究班員、その他関係者の皆様、本当に疲れ様でした。

令和元年第一回検査室運営研修会に参加して

医療法人瑞穂会 川越リハビリテーション病院
吉岡 直子

コミュニケーションスキル!! はじめの1歩はあいさつから!!
～ 話し方1つで、接し方1つで…… あなたは変われる!! ～

講師 埼玉医科大学病院 看護師長 接遇インストラクター

鎌北 郁子先生

日時 令和元年9月10日 19:00~20:30

場所 大宮ソニックスティ 906号室

雷鳴がとどろき、稻妻が光る中、令和元年9月10日午後7時、大宮ソニックシティ906号室に56名の会員が集合、鎌北先生の熱のこもった講演がスタートしました。

「マナーの基本精神は目配り、気配、心配り、手配りの“和顔愛語の精神”です。



では、“やさしいまなざし、柔軟なほほえみ”を隣同士でやってみましょう！」「会話力を高める基本原則、聞き手は会話のキャッチボールを心掛けましょう。では、前の席の人は後ろの人に、最近楽しかった事について3分間、話してみましょう。聞き手は、相手が話しやすくなるよう、相槌を打ってみましょう！」
(ぎこちない笑顔で見つめあったり、話し合ったりで戸惑い気味の会員たち)

しかし、「私の講演は、参加者全員が仲良くなるのを目指している」とおっしゃる鎌北先生、そんなことはお構いなし。ぐいぐいと私たちを引っ張っていきます。

話は“マナーの基本精神”、“コミュニケーションの基本”、“会話力を高める方法”、“初対面でも話が弾む会話術”と、どんどん進んでいきます。

「ボディランゲージを使うと相手に伝わりやすくなります。それでは、隣の人に自分の好きな物(事)をボディランゲージ(ジェスチャー)だけで伝えてみましょう！」

私の隣人はビール片手にエアー焼き肉。思わず笑ってしまいました。いつの間にか会場内は、笑顔と笑い声で和やかな雰囲気に。会員同士、新たな繋がりも生まれたようで、講演会終了後、名刺交換をされている方を、あちらこちらで見かけました。

今回の講演で、私自身、日々の業務に追われ、おろそかになっていた点がたくさんありました。今回学んだことを、明日から丁寧に実践していきたいと思います。

鎌北先生、検査室運営委員の皆様、素晴らしい講演会をありがとうございました。

埼臨技ひろば

コリアンレポート 埼玉版

第57回大韓臨床病理士協会総合学術大会に参加して

川口工業総合病院
井上 直輝

この度、第57回大韓臨床病理士協会総合学術大会及び国際カンファレンスに参加してきたので報告します。

2019年8月29日から9月1日の3泊4日のツアーで会場は2018年冬季オリンピックの開催地であった平昌(ピョンチャン)でした。日本からはポスター発表が30演題、学生フォーラムが2人、シンポジウムに4人と学会関係スタッフ合わせて総勢50名での参加でした。私は海外の学会参加は初めてで、時折しも韓日関係は近年最悪となり周囲から心配の声をたくさんいただいた中での滞在でしたが、現地の日本人があまりいないモールでも親切な対応で、出国前の暗いニュースを忘れてしまうほどの穏やかな毎日でした。

夕食後に韓国と台湾の方を交えたお酒の席では話題に気を付けていましたが、韓国の方から「多くの市民は日本が好きだし、より良好な関係を築くためにもお互いに継続して努力をするべきです」と話してくれました。仰る通り。色々なご意見があるかと思いますが、日本の報道や教育がいかに偏っているかを痛感せずにいたいられませんでした。「過去に目を閉ざすものは、現在にも盲目である」という言葉がありますが、一方的な視点からの報道、教育で明るい未来を作れるとは私は思えません。

また、「韓国と台湾は国際活動に積極的なのに、なぜ日本はこんなに消極的なのですか」とも。まさに酔っているからこそ本音トーク、居酒屋だから成した会話ではないでしょうか。ただそんな中でも最年長は30後半の私でしたが、最多層は30前後。中には25歳で初めての学会発表者もいま

した。このような若い層が今後の日本の国際意識を変えていくのだろうと期待が持てます。その上、1人きりでの参加者も多く、皆それぞれ不安いっぱいですが、それらを分かち合える人との繋がりができます。英語発表はもちろん素晴らしい経験ですが、それ以外にも海外の方や志高い日本人との出会いと交流、現地でしか味わえない経験も大きな収穫です。そもそも英語を母国語としていないわけですから、流暢に話せるわけがありませんし、間違いを笑う人もいません。未知なる領域に挑戦することに価値や意味があるのではないでしょうか。来年は済州島で開催されます。ご興味のある方はチェックしてください。個人的には知人を誘わずに1人きりでの参加をお勧めします。

最後に日臨技のスタッフ、学会参加者、現地の通訳者を含め多くの学会スタッフそして気持ちよく送り出してくれた理解ある職場のスタッフに感謝します。



第47回 埼玉県医学検査学会情報

開催日：令和元年12月1日(日)

会 場 : 大宮ソニックシティ

テーマ：「飛翔」

サブテーマ：-『進化』から『昇華』へ-



発表用スライドデータの送付方法について

第47回埼玉県医学検査学会 事務局長 内田 康子

近年の日本では毎年自然災害が起こっています。この夏に熊本のある学会に参加し、再建中の熊本城の被害の大きさを目の当たりにし、自然の力を思い知らされました。その学会では「熊本地震から学んだ災害医療支援における多職種連携」についての講演があり、エコノミー症候群健診など臨床検査技師にもできる支援がたくさんあることを知りました。災害時に役に立てるよう、専門以外のことも身に付けておく必要があると痛感しました。

また少子化で定員割れとなる大学・短期大学・専門学校が多い中、臨床検査技師養成校は漸増しています。これから臨床検査技師を目指す後輩達のためにも、職域を広げて未来へと「飛翔」しましょう。

さて、スポーツ、食欲、観光など何かと忙しい季節となりましたが、発表スライドの作成は進んでいますでしょうか？ 今月は、発表用スライドデータの送付方法についてお知らせいたします。内容については、後日ホームページにも掲載しますので、ご対応よろしくお願ひ申し上げます。

発表用スライドデータ（Microsoft Power Pointで作成）は原則E-mail（以下メール）での送付となります。ただし、ファイル容量が4MB以上の場合、スライドに動画が含まれる場合はCD-Rでの送付となります。（CD-RWは不可）

《送付方法》

1. メールで送付の場合（4MB未満かつ動画無し）

- 1) 1演題につきメール1通に添付し送信してください。
- 2) メールの「件名」を「分野－演題番号－氏名」としてください。

例) 生－1－住良 俊太

分野－演題番号は埼臨技会誌 第47回埼玉県医学検査学会特集号でご確認下さい。

- 3) 本文には何も記載しないでください。
- 4) 添付するファイル名はメールの「件名」と同じにしてください。
- 5) 送付いただいたメールのデータは実行委員会にて責任を持って消去いたします。

2. CD-Rで送付の場合（4MB以上または動画有り）

- 1) 1演題につき1枚のCD-Rで送付してください。
- 2) CD-R表面には「分野－演題番号－氏名」を記入してください。

例) 生－1－住良 俊太

分野－演題番号は埼臨技会誌 第47回埼玉県医学検査学会特集号でご確認下さい。

- 3) 保存するファイル名はCD-R表面に記入した内容と同じにしてください。
- 4) CD-Rは返却いたしません。実行委員会にて責任を持って処分いたします。

※CD-Rが使用できない場合は、USBメモリーでも受付します。USBメモリーは担当者が内容を確認できるように工夫して提出してください。USBメモリーは発表終了後、総合受付にて返却いたします。実務軽減のためできる限りCD-Rでの送付をお願いいたします。

《送付期限》

令和元年11月8日（金）～11月15日（金）必着

※必ず、1演題1度の送付でお願いいたします。複数回送付いただきましても、差し替えはできませんのでご注意ください。当日は念のため予備記録媒体を持参ください。

※送付方法にかかわらず、スライドデータの受付から1週間以内に受付確認のメールを送信いたします。送付から1週間が過ぎても連絡のない場合は、下記までお問い合わせください。

《送付先・問い合わせ先》（第47回埼玉県医学検査学会 事務局）

〒350-1241 埼玉県日高市山根1397-1 埼玉医科大学 保健医療学部 内田 康子

E-mail : sai47uch@saitama-med.ac.jp TEL : 042-984-4619 (直通) FAX : 042-984-4804

令和元年度 第1回 女性技師企画研修会のお知らせ

女性技師企画研修委員会委員長
小島 徳子

今年度の女性技師企画研修会は、テーマを二つ用意いたしました!!

【日時】：2019年11月23日（土）

研 修 会 9:30～11:45 9:00～受付開始

意見交換会 12:00～14:00

【場所】 研 修 会 埼玉県総合医局機構地域医療教育センター研修室
(埼玉県立小児医療センター8階)

意見交換会 梅蘭（JRさいたま新都心ビル4階）

【研修テーマ】

1、特定社会保険労務士による「ハラスメントについて」 9:30～10:50

～あなたの職場は大丈夫？皆で解決ハラスメント！～

講師：山口 ひろみ（特定社会保険労務士）

2、蕎麦打ち名人による「うまい蕎麦を科学する」 11:00～11:45

講師：安田 武司（全国ご当地そば伝統継承・推進協議会会长）

「ハラスメント」については、特定社会保険労務士の方（女性）を講師にお招きして、職場におけるハラスメントについての基礎的な知識、種類、相談するところなどを教えていただきます。指導とハラスメントの違い、法に規定されているハラスメントの種類、ハラスメントを感じた時、誰に話せばよいか？どこに相談すればよいか？など、事例も交えて講師の先生がわかりやすく教えてくださいます。

「うまい蕎麦を科学する」では、全国ご当地そば伝統継承・推進協議会会长（実は東武医学技術専門学校の生化学担当非常勤講師）が科学の知識を活かした蕎麦について、楽しくお話ししてくださいます。

研修会の後は、講師の先生方を囲んでの意見交換会がありますので、先生方と直接お話しすることも可能です。また今回からは、お子様に加えてご家族も参加できますので、皆様奮ってご参加ください。お待ちしています!!

お申し込みは下記の連絡先にお願いします。

【費用】 研 修 会 300円/1人

意見交換会 大人5,000円/1人 お子様メニュー580円

(準備の都合上、11月15日までにお申し込みください。)

【連絡先】 E-mail:n_kojima@hasuda-issinkai.jp （蓮田一心会病院検査科 小島徳子）

各研究班の研修会報告を致します。

テーマ ステップアップ！ 尿沈渣検査

主催 一般検査研究班

実施日時：令和元年7月19日 19時00分～21時00分

会 場：大宮ソニックシティ 906号室 点数：専門教科－20点

講 演 1：尿沈渣検査に役立つ「秘密の七つ道具？」

講 師：小関 紀之（獨協医科大学埼玉医療センター）

講 演 2：上皮細胞類・悪性細胞類の見方

講 師：八木 靖二（シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社 学術顧問）

参加人数：会員128名 賛助会員5名

出席した研究班班員：柿沼智史 白石将也 藤村和夫 小関紀之 川音勝江 佐々木菜緒
深田茂則

研修内容・感想など

小関氏より、「尿沈渣検査に役立つ秘密の7つ道具」として、①0.4% E D T A加生理食塩水、②30%塩酸、③30%酢酸、④10%水酸化カリウム、⑤プレスコットブローディ染色、⑥ベルリンブルー染色、⑦顕微鏡カメラについてそれぞれの使用方法や実際の症例においての活用を交えてわかりやすく説明いただいた。

八木氏からは「上皮細胞類・悪性細胞類の見方」として下記のポイントについて解説していただいた。

扁平上皮細胞は表層型細胞と中～深層型に分類され、表層型は不定形で薄い細胞質で深層に向かうほど細胞質は厚くなり球状を示す。エストロゲン治療や放射線治療時には奇妙な形や大型化が認められることがあり、悪性細胞との鑑別は、クロマチンの増量や核異型に注意する。

尿細管上皮細胞は基本型と特殊型に大別でき、特殊型はしばしば集塊で認められる。尿細管上皮細胞の鑑別のポイントは円柱内の上皮細胞は尿細管上皮細胞であることから、上皮円柱内に封入されている尿細管上皮細胞の形態をよく観察する。円柱に付着、リポフスチン顆粒の含有、塩類・結晶に付着なども尿細管上皮細胞の鑑別のポイントとなる。

尿路上皮細胞は2～6層の多列上皮で、表層型と中～深層型に分類される。表層部の細胞はアンブレラセルと呼ばれ細胞質の表面構造は漆喰状で厚い細胞質を持ち、しばしば2核になる。深層になるほど小型で多稜形を示す。核の大きさが深層型から表層型まではほぼ同じ大きさであり、深層型ではN/C比が高くなる。悪性細胞との鑑別はクロマチンの増量や核異型に注意が必要である。

悪性細胞は典型像を示す核異型の強いものと非典型像を示す核異型の弱いものがある。典型像を示す異型細胞は核腫大、N/C比大、クロマチン増量、核小体肥大、核形不整などを示す。非典型像を示す異型細胞は変性・崩壊を示す悪性細胞や核異型の乏しい悪性細胞であり、小型で見落とされやすいため、本来の細胞より小さすぎる細胞には注意が必要である。

小型の尿路上皮癌細胞は細胞質内に脂肪顆粒や封入体を有して出現することがあるため、このような細胞を認めたときは核異型が乏しくても注意が必要である。

八木氏の講演は正常と悪性を比較して解説されていて、とても分かりやすく、勉強になる内容であった。今回の研修会は128名の会員参加があり、尿沈渣検査の細胞分類・悪性細胞の鑑別に対しての関心の高さを実感した。

(文責：川音勝江)

テーマ 心臓超音波実技講習会

主催 生理検査研究班

実施日時：令和元年8月24日 9時00分～16時30分
会 場：自治医科大学附属さいたま医療センター 南館2階講堂 点数：専門教科－20点
心臓超音波実技講習会1（特別講演）
演 題：心エコー検査入門編
「正しい断面設定と精度よい計測のために」
講 師：戸出 浩之（獨協医科大学埼玉医療センター）
心臓超音波実技講習会2（実技）
実 技：AM 9:00～11:30
講 師：戸出 浩之（獨協医科大学埼玉医療センター）
阿部美智子（深谷赤十字病院）
山田 志穂（三郷中央総合病院）
丸山 陽介（吉川中央総合病院）
早川 勇樹（自治医科大学附属さいたま医療センター）
実 技：PM 14:00～16:30
講 師：戸出 浩之（獨協医科大学埼玉医療センター）
阿部美智子（深谷赤十字病院）
山田 志穂（三郷中央総合病院）
丸山 陽介（吉川中央総合病院）
早川 勇樹（自治医科大学附属さいたま医療センター）
参加人数：会員49名 非会員1名
出席した研究班班員：早川勇樹 仲野浩 潤澤義教 野本隆之 田名見里恵 武藤由里子
園部由香 横尾愛

研修内容・感想など

実技講習では、午前の部で23名、午後の部で18名の申し込みであった。経験年数に応じて4ブースに分かれ、ベテランの各講師陣のもと丁寧な指導がなされていた。参加者は、経験の浅い初級者が多いため、時間ぎりぎりまで指導を受けているブースが多かった。一般企業による実技講習となると数万円かかるが、技師会主催の実技講習は安価で手厚い指導が受けられるのが大きなメリットだと言える。実技中の質問の中で、「石灰化の影響で弁血流測定がうまくいかない」との質問に対し、全体質疑の時間で戸出氏から急遽スライドでの説明をしていただいた。一方向に捕われず、多方向から観察する重要性を学ぶことができた。全体を通して、大変有意義な講習会となった。

午前中の実技講習の後には、戸出氏に心エコー検査入門編「正しい断面設定と精度よい計測のために」というタイトルの特別講演だった。今回の研修会では初心者向けという事もあり、最初に心エコーで必要な解剖の知識からお話があった。その際、自身の手を組み合わせることにより心臓と大血管の位置関係を疑似的に知るいい方法であるとのこと。エコーでは断層像となってしまうため、解剖学的な位置関係を理解することは往々にして難しいが、この方法であればいつでも確認できるので理解が早くなるのではと思われた。

その後は、綺麗な画像を描出するため、さらには臨床に活かす検査にするためにどのように絵を作ったら良いのかについて、必要なエコー機器の調整方法や探触子の持ち方や動かし方、それぞれの断面を描出する際、また、それぞれの値を計測する際に、注意すべき点を多数の画像を提示しながら分かりやすく解説があった。

最後には実技として被検者を用い、どのような点に注意しながら画像を描出したらよいのか、探触子の動かし方や被験者の息止め方法などを交えながら教えていただいた。

今回は初心者向けの講演であり、話す内容も多岐に渡っていたため、講演時間が足りなくなってしまったが、9月の研修会でも戸出氏の「ASEガイドラインに基づく心エコー」という内容の講演を予定しているので、多くの方に参加してほしいと思う。

（文責：野本隆之、早川勇樹）

**令和元年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第6回 理事会議事録**

日 時：令和元年9月12日（木）19時00分より
場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議 題：I. 行動報告 II. 報告事項
III. 承認事項 IV. 議題

出 席：(理事) 神山 岡田 松岡 小山 濱本
奈良 長岡 小島 神嶋 菊池
濱田 伊藤 笹野 石井 神戸
山口 猪浦 阿部 久保田

(監事) 遠藤 細谷

欠 席：(理事) 矢作 鳥山 長澤

本日の理事会の出席者は21名であった。理事の出席者は19名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、神山清志会長が務めることとなった。

I. 行動報告（令和元年8月9日～令和元年9月11日）

8月9日（金）令和元年度第5回理事会：

神山、岡田、松岡、小山、奈良、
長岡、小島、神嶋、菊池、長澤、
濱田、伊藤、石井、神戸、山口、
鳥山、猪浦、久保田、細谷

8月9日（金）会計作業：阿部

8月11日（日）事務所巡回：神山

8月13日（火）三役会議：神山、松岡、小山、濱本

8月15日（木）事務所巡回：小山

8月19日（月）第47回埼玉県医学検査学会第10回
実行委員会：奈良

8月26日（月）だより484号編集会議（メール会議）：
奈良、長岡、小島、神嶋、菊池

9月1日（日）日臨技化学免疫認定技師制度関連
合同会議：神山

9月7日（土）令和元年度埼玉県医師会精度管理
試料発送作業：

神山、松岡、小山、奈良、長岡、
長澤、伊藤、神戸、山口、猪浦、
阿部

9月10日（火）第47回埼玉県医学検査学会臨時実
行委員会：奈良、菊池

9月10日（火）第1回検査室運営研修会：
矢作、長澤、濱田、笹野

II. 報告事項

1 事務局

- 1) 8月13日（火）三役会議を行った。
- 2) 群馬県臨床検査技師会より「令和元年度日臨技 初級・職能開発講習会」の案内が届いた。
- 3) 埼玉県看護協会より「第13回埼玉医療安全大会」後援依頼が届いた。
- 4) 日臨技より都道府県技師会の加入条件に係る調査について依頼が届いた。
- 5) 日臨技より結核研究奨励賞候補者の推薦依頼が届いた。
- 6) 令和元年度臨時会員総会の開催日、令和2年3月19日（木）市民ホール第1集会室（401）と決定した。

2 総務部

- 1) 8月26日（月）埼臨技だより第484号編集会議（メール会議）を行った。
- 2) 「埼臨技だより」第484号、9月15日発行予定

3 事業部

- 1) 9月10日（火）第1回検査室運営研修会を開催した。

4 学術部

- 1) 2019年度日臨技 首都圏・関甲信支部医学検査学会の座長に下記4名の推薦を行った。
輸血：山田 攻 氏（埼玉医科大学病院）
血液：網野 育雄 氏
(埼玉医科大学国際医療センター)

微生物：永野 栄子 氏

(獨協医科大学埼玉医療センター)

生理：野本 隆之 氏

(上尾中央医科グループ吉川中央総合病院)

- 2) 病理研究班から「ホルマリン、キシレンを中心とした取り扱いに関する意識調査や法令で定められる環境測定の実施状況等の調査」にクエスチョンを使用したいとの要請を受け、承認した。

5 精度保証部

特になし

6 会計部

- 1) 令和元年度正会員費26名130,000円、入会金26名分26,000円 合計156,000円の入金があった。

2) 日臨技より生涯教育推進研修会助成金
50,000円×3、39,500円×1 合計189,500円の入金があった。

3) 株式会社石井印刷に埼臨技だより第483号印刷代107,935円を支払った。

7 精度管理委員会

1) 令和元年度埼玉県医師会精度管理調査メーカー参考値提供の契約を、システムズ株式会社、ロシュダイアグノスティックス株式会社と交わした。

2) 9月7日(土)に、令和元年度埼玉県医師会精度管理試料発送作業を行った。

8 一都八県会長会議

特になし

9 日臨技関甲信支部

特になし

10 日臨技

特になし

11 第47回埼玉県医学検査学会

1) 8月19日(月)第47回埼玉県医学検査学会第10回実行委員会が開催された。

2) 9月10日(火)第47回埼玉県医学検査学会臨時実行委員会が開催された。

III. 承認事項

1 事務局

1) 会員動向(令和元年度分)

令和元年9月1日現在
会員数 3,167名 [平成30年度会員数3,027名]

(新入会員 266名)

賛助会員 81社[平成30年度 82社]
承認された。

2) 事務職員の採用について

令和元年10月2日より事務職員を1名採用することについて承認された。

2 総務部

特になし

3 事業部

特になし

4 学術部

特になし

5 精度保証部

特になし

6 会計部

特になし

7 精度管理委員会

特になし

8 第47回埼玉県医学検査学会

特になし

IV. 議題

1 事務局運営規則について

小山事務局長より事務局運営規則の修正について発言があった。これを受け理事會審議の結果、承認された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

あ と が き

この度の台風15号により被災された方々には心からお見舞い申し上げます。一日も早く平穏な生活に戻されることを心からお祈りいたします。

現在歯の治療に通っています。きっかけは歯茎の腫れと痛みでした。診察後、歯の根にヒビ?が入っていることが判明。今後の治療方針としては、ヒビが発生している片方の根を取り(簡単に言えば歯を半分にする)隣の歯と共にブリッジを作ることでした。心中で「そんなことできるの?」と思いましたが、放っておいた自分が悪い。すべてをお任せし、治療も一旦終了しています。その影響で数日間は顔が腫れました。。。

現在も、新たに発覚した数か所の虫歯を順次治療しています。しばらくは通院が続きそうですが、これからもお世話になる大切な歯。治療完了まで頑張りたいと思います!

(長岡 記)

